

5月28日：銀行・化学セクターを中心にベトナム株は上昇

ベトナム株は上昇、原油価格の下落で恩恵を受ける企業や銀行を中心として上昇を継続した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.46%高の861.39ポイントで取引を終えた。取引時間中の高値では1.01%ほど上昇する場面があった。

ハノイ取引所のHNX指数は0.68%高の109.64ポイントで取引を終えた。

両指数は水曜日には1.34%、1.45%安となっていた。

出来高は3億6360万株で売買代金にして7.8兆ドンであった。

相対取引で、ビンホームズ（VHM）が2.2兆ドンほど取引された。VHMは0.4%高で取引を終えた。

銀行、プラスチック・化学セクターが相場を牽引した。

銀行セクターは1.6%高で、ベトコムバンク（VCB）、BIDV銀行（BID）、サイゴンハノイ証券（SHB）、サコムバンク（STB）などが上昇した。

それら4行は1.9-3.7%ほど上昇した。

原油価格の下落によって、原油を消費するビジネスであるプラスチック・化学セクターが上昇した。

同セクターの指数は0.9%高で木曜日の取引を終えた。

ティエンフォンプラスチック（NTP）、ペトロベトナムカマウ肥料（DCM）、ドゥックジャン化学（DGC）などの銘柄が上昇した。

一方、ペトロベトナムドリリング（PVD）、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）、ペトロベトナムガス（GAS）などは下落して取引を終えた。

ベトナム株は全体としてわずかに上昇したが、大型株でもまちまちの動きとなったとThanh Cong証券はデイリーレポートで語った。

242 銘柄が上昇したのに対し、270 銘柄が下落したことが、売り圧力が続いており、上昇した銘柄を中心として利益確定圧力があることを示している。

同社は直近 2 か月上昇していることもあり、市場は停滞もしくは調整に入ってもおかしくないと予想した。

第 2 四半期に向けて新型コロナの影響を受けたベトナム企業に関するポジティブなニュースが不足していることも相場の重荷となっている。

VN 指数は 840-880 ポイントで推移すると予想される。投資家は短期的な上昇にあまり期待を持っていないとサイゴンハノイ証券は語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。